

献血ベニロン及び代替製品の適応について

適 応	献血ベニロンー I 静注用 (化血研)	代 替 製 品					
		日赤ポリグロビンN (日本血液製剤機構)	献血ヴェノグロブリンIH (日本血液製剤機構)	献血グロベニンー I 静注用 (日本製薬)	ガンマガード静注用 (バクスター)	サングロボール点滴静注用 (CSLベールリング)	ハイゼントラ (CSLベールリング)
①低又は無ガンマグロブリン血症	○	○	○	○	○	○	○
②重症感染症における抗生物質との併用	○	○	○	○	○	○	-
③特発性血小板減少性紫斑病(他剤が無効で著明な出血傾向があり、外科的処置又は出産等一時的止血管理を必要とする場合)	○	○	○	○	-	○	-
④川崎病の急性期(重症であり、冠動脈障害の発生の危険がある場合)	○	○	○	○	-	-	-
⑤ギラン・バレー症候群(急性増悪期で歩行困難な重症例)	○	-	-	-	-	-	-
⑥次の疾患における神経障害の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)／ <b>チャージ・ストラウス症候群、アレルギー性肉芽腫性血管炎</b>	○	-	-	-	-	-	-
⑦ <b>多発性筋炎・皮膚筋炎における筋力低下の改善</b> (ステロイド剤が効果不十分な場合に限り)	-	-	○	-	-	-	-
⑧ <b>全身型重症筋無力症</b> (ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限り)	-	-	○	-	-	-	-
⑨慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(多巣性運動ニューロパチーを含む)の筋力低下の改善	-	-	○	○	-	-	-
⑩天疱瘡(ステロイド剤の効果不十分な場合)	-	-	○	○	-	-	-
⑪ <b>血清IgG2値の低下を伴う、肺炎球菌又はインフルエンザ菌を起炎菌とする急性中耳炎、急性気管支炎又は肺炎の発症抑制</b> (ワクチン接種による予防及び他の適切な治療を行っても十分な効果が得られず、発症を繰り返す場合に限り)	-	-	○	-	-	-	-
⑫ <b>スティープンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症</b> (ステロイド剤の効果不十分な場合)	-	-	-	○	-	-	-

※献血ベニロンの適応症

【ギラン・バレー症候群】

【チャージ・ストラウス症候群、アレルギー性肉芽腫性血管炎】

・承認日:平成12年12月12日

・承認日:平成22年1月20日

・再審査期間:平成12年12月12日～平成22年12月11日

・再審査期間:平成22年1月20日～平成32年1月19日